

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 藤岡市立北中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒375-0014
群馬県藤岡市下栗須 283 番地 2

E-mail : fujikita@school.gsn.ed.jp

Website : http://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1020002

児童生徒数：男子 299 名 女子 281 名 合計 580 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域貢献活動)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

平成26年度ユネスコスクール活動報告書

1 本校が取り組むユネスコスクールプロジェクトについて

地域貢献活動…テーマ「We Love ふじおか」

地域で生まれ、地域で育ちながら、地域との結びつきが希薄な現状を打破し、「ふじおか」を愛し、「ふじおか」の若者として、使命感ある生活を実践する契機とする活動を行う。こうした理念の下、本年度は2学年においてチャレンジウィークという職場体験活動の一環として「ちいき隊」といったグループを組織し、独居老人の家でお世話する活動や、地域の清掃活動といった地域からの依頼に生徒が応える活動を行った。

2 チャレンジウィークについて

(1) テーマ 「2014 新たな挑戦！ 世界を広げる5 days」
－ 体に汗、頭にも汗、そして心に大粒の汗 －

(2) 理念

チャレンジウィークの前身である「職場体験学習（初回；平成2年3月実施）」を全国に先駆けて実施したパイオニア校としての誇りを生徒たちに持たせ、5日間30時間の体験を終えたときに、「新たな自分の可能性」、「新たな将来の夢」、「今まで知らなかった自分」を発見できることを実感させる。活動を通して多くの人とふれあい、新たな価値観、仕事の厳しさを知ること、今の自分を見つめ直す機会を与えるだけでなく、地域「ふじおか」の良さを知り、自分にも地域に貢献できることがある、ということを感じさせる機会とする。

(3) ねらい

- 自己の将来や社会の未来をみつめ、より良い生き方を探る機会とする。
- 各事業所での体験を通して、勤労の尊さや働くことの意義、地域社会で活動していくことの大切さを学び、生き甲斐のある生活を実現していこうとする意欲を育てる。
- 地域社会での体験を通して、将来自分たちが担っていく社会の未来について考えさせ、地域に生きる若者として、夢を持って、地域社会をよりよくしていこうとする態度を育てる。

(4) 活動内容

①職場体験学習・・・「I LOVE 自分」

「本気で取り組み、己を知る」ことを実現するために、本事業の目的（職業観・人間観・社会性等の育成）を達成できるよう、特に事前事後の指導の徹底を図っていく。また、充実した体験活動を実現することのできる事業所を選定していく。以上のような万全の環境整備をした上で、生徒には目的遂行のために真摯に臨ませていきたい。

②地域貢献活動・・・「WE LOVE ふじおか」

地域で生まれ、地域で育ちながら、地域との結びつきが希薄な現状を打破し、「ふじおか」を愛し、「ふじおか」の若者として使命感のある生活を

実践する契機としたいと考え「北中ちいき隊」として、次の2つの活動を行うこととした。

○地域在住の独居高齢者との交流

地域に住む独居高齢者や福祉施設を訪ね、家事手伝いや対話等の交流を通して中学生でも出来る地域貢献活動を実践することで、高齢者福祉への関心を高めさせたり、社会人としての資質を養ったりする機会とする。

○地域の清掃活動

地域の道路の清掃活動を通して、地域愛や社会参画意識を高めていく機会とする。

(5) 参加人数

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
職場体験学習 (人)	175	184	192	191	183
地域貢献活動 (人)	23	14	6	7	15

(6) 地域貢献活動「ちいき隊」の活動の様子（活動の様子と生徒の思い）

ちいき隊では、グループホームにお邪魔させていただき、老人の方とたくさんお話ししたり、そうじをしたり、歌を歌ったりととても貴重な体験をすることができました。ちいき隊最後の日には、鬼石の方まで歩いて、とても長い道だったので疲れましたが、草むしりをしたときに、そこのおばあちゃんが、「夢のようだ。うれしい。」と何度も言ってくれたので、良かったなと思い、パワーやエネルギーをもらいました。

3 事前・事後の主な指導

事前の活動

- 職業人から話を聞く会
- マナーアップ講習会（ヨシモトポール・NTTに講師を依頼）
- 事業所等事前訪問

事後の活動

- 協力していただいた事業所への「お礼のはがき」
- 体験文集「2014 新たなる挑戦！ 世界を広げる5days」の作成
- 体験報告会（1年生を対象に）
- 事業所お礼の訪問（体験文集を届けに）

4 成果と今後の課題

(1) 成果・・・真剣に取り組んだからこそ“わかる”ことがある。

○ちいき隊の活動は、生徒が真剣にそうじに取り組んだり、コミュニケーションを取ったりしたことで、多くの方に喜んでもらうことができた。また、民生委員の方にも中学生の活動を伝えることができ、理解をしてもらうことができた。さらに、住んでいる地域の外まで歩いて回ること、藤岡について改めて知ることができた。

○学校で普段行っている「あいさつ」、「返事」、「そうじ」などの大切さに

ついて身をもって感じる事ができた。また、普段は気づかないような、仕事の裏側を知り、目に見えないところに仕事があることがわかった。そのため、物事を深く見られるようになってきた。

○失敗しても粘り強く仕事に取り組むなど、普段学校では見られないような、生徒の新しい一面を知ることができた。

(2) 課題・・・さらなる発展を目指すために。

○受け入れ先に、チャレンジウィークの趣旨をよりしっかりと伝え、積極的に受け入れていただける事業所に行くことができるようにする。無理にお願いしなくてはならないような場合は、中学校側にとってはよい体験ができず、事業所にとっては迷惑がかかるだけでプラスにならない。

○地域貢献活動をさらに充実、拡大させるためには、関係諸機関との連携を強化する必要がある。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）